

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-306206

(43)公開日 平成8年(1996)11月22日

| (51)Int.Cl. ⁸ | 識別記号 | 庁内整理番号 | F I | 技術表示箇所 |
|--------------------------|------|--------|--------------|--------|
| F 2 1 M 3/02 | | | F 2 1 M 3/02 | G |
| B 6 0 Q 1/34 | | | B 6 0 Q 1/34 | E |
| | | | | B |

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平7-109496

(22)出願日 平成7年(1995)5月8日

(71)出願人 000000136

市光工業株式会社

東京都品川区東五反田5丁目10番18号

(72)発明者 小原 仁

神奈川県伊勢原市板戸80番地 市光工業
株式会社伊勢原製造所内

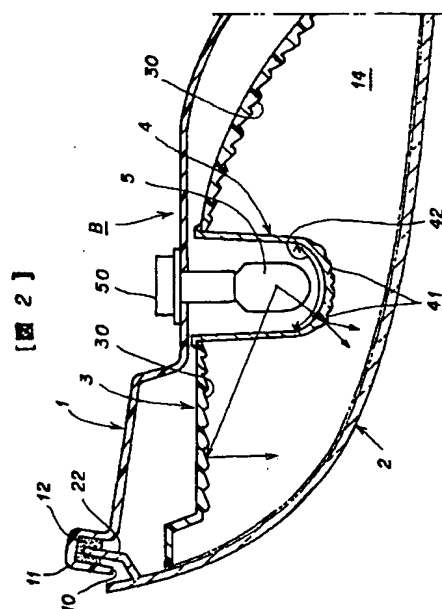
(74)代理人 弁理士 秋本 正実

(54)【発明の名称】 車両用灯具

(57)【要約】

【目的】 インナーハウジングの反射プリズムとキャップのプリズムとが連続的に見えること。

【構成】 レンズ2から見てインナーハウジング3の反射プリズム30とほぼ連続的に見えるプリズム41がキャップ4に設けられている。この結果、光源バルブ5の非点灯時において、レンズ3から灯室14内を見ると、インナーハウジング3の反射プリズム30とキャップ4のプリズム41とが連続的に見える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 レンズ等により灯室が画成されており、この灯室内には光源バルブ及びインナーハウジングが配設されており、この光源バルブはキャップによって覆われており、前記インナーハウジングには、前記光源バルブからの光であって前記キャップを経た光を前記レンズ側に反射させる反射プリズムが、設けられている車両用灯具において、

前記キャップには、前記レンズから見て前記インナーハウジングの反射プリズムとほぼ連続的に見えるプリズムが、設けられていることを特徴とする車両用灯具。

【請求項2】 前記キャップはアンバー色に着色された着色キャップであり、前記インナーハウジングの反射プリズムは垂直に分割された反射プリズムからなり、前記キャップのプリズムは前記インナーハウジングの反射プリズムとほぼ同一ピッチで垂直に設けられていることを特徴とする請求項1に記載の車両用灯具。

【請求項3】 前記キャップは、外面側に前記レンズから見て前記インナーハウジングの反射プリズムとほぼ連続的に見えるプリズムが設けられており、内面側のうち少なくとも前記プリズムが設けられている範囲に対応する部分にホーニング加工部分が設けられていることを特徴とする請求項1又は2に記載の車両用灯具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えばターンシグナルランプ等のように、灯室内にインナーハウジングが配設されており、また光源バルブにキャップが覆われており、さらに光源バルブからの光であってキャップを経た光をレンズ側に反射させる反射プリズムがインナーハウジングに設けられている車両用灯具に係り、特にレンズから見てインナーハウジングの反射プリズムとキャップのプリズムとが連続的に見える車両用灯具に関するものである。

【0002】

【従来の技術】以下、この種の車両用灯具について図3及び図4を参照して説明する。この例の車両用灯具は、リヤコンビネーションランプを構成するターンシグナルランプである。図において、Aはリヤコンビネーションランプで、このリヤコンビネーションランプAは、ターンシグナルランプBと、テールストップランプCと、バックランプDとの組み合わせから構成されている。この種の車両用灯具としてのターンシグナルランプBは、ランプハウジング1と、レンズ2と、インナーハウジング3と、キャップ4と、光源バルブ5等を備える。

【0003】前記ランプハウジング1は、前面に開口部10が設けられており、その前面開口部10の全周縁にシール凹部11が設けられている。また、このランプハウジング1は、後述するレンズ2の回り込み部が位置す

るサイド部分が光軸方向に対してほぼ垂直をなし、またそのサイド部分と逆側のサイド部分が光軸方向にほぼ平行をなす。

【0004】このランプハウジング1のシール凹部11にはレンズ2のシール脚部22が例えばホットメルト等12によりシールされ、またスクリュウ等（図示せず）により機械的に固定されている。このレンズ2及びランプハウジング1により灯室14が画成されている。このレンズ2は、例えば無色の光透過性の合成樹脂製のものからなり、ほぼ素通しのレンズである。このレンズ2は正面部に対してサイド（図示の例では左サイド）に回り込み部が設けられている。このレンズ2の内面には適宜のプリズムが設けられている。

【0005】このレンズ2及びランプハウジング1により画成された灯室14内には、インナーハウジング3が適宜の取付手段により配設されている。このインナーハウジング3は、例えば合成樹脂製からなり、前記レンズ2の回り込み部に対応する部分が直線をなし、かつ前記レンズ2の正面部に対応する部分が曲線をなす。このインナーハウジング3の内面には、前記光源バルブ5からの光であって前記キャップ4を経た光を前記レンズ2側に反射させる反射プリズム（反射面）30が、設けられている。この反射プリズム30は垂直に分割された反射プリズム（所謂たてプリズム）からなる。このインナーハウジング3の内面にはアルミ蒸着が施されている。

【0006】このインナーハウジング3の内側の灯室14内には光源バルブ5が配設されている。この光源バルブ5は前記ランプハウジング1にソケット50を介して着脱可能に取り付けられている。

【0007】この光源バルブ5の外側にはキャップ4が覆われている。このキャップ4は、アンバー色に着色されており、前記インナーハウジング3等に適宜手段で取り付けられている。このキャップ4は、一端部（正面部）が円弧状に閉塞し、かつ他端部（背面部）が開口した中空状の円筒形状をなす。このキャップ4の正面には同心円プリズム（フレネル）40が設けられている。なお、このキャップ4において、同心円プリズム40が設けられていない、無プリズムのキャップもある。

【0008】上述の光源バルブ5を点灯すると、光源バルブ5からの光がキャップ4を経て着色され、この着色光がインナーハウジング3の反射プリズム30で反射され、この反射着色光がレンズ2を経て外部に所定の配光パターンで照射される。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】ところが、上述の従来の車両用灯具は、インナーハウジング3の内面に垂直に分割された反射プリズム30が設けられており、一方、キャップ4の正面に同心円プリズム40が設けられている（若しくはキャップ4の正面にプリズムが設けられていない）。このために、光源バルブ5の非点灯時（消灯

時)において、レンズ2から灯室14内を見ると、図3に示すように、インナーハウジング3の垂直に分割された反射プリズム30と、キャップ4の同心円プリズム40(若しくは無プリズム)とが、ばらばらに見えて一体感が無い等の問題がある。

【0010】本発明の目的は、光源バルブの非点灯時において、レンズから灯室内を見ると、インナーハウジングの反射プリズムとキャップのプリズムとが連続的に見える車両用灯具を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、上述の目的を達成するために、レンズから見てインナーハウジングの反射プリズムとほぼ連続的に見えるプリズムがキャップに設けられていることを特徴とする。

【0012】

【作用】本発明は、上記の構成により、光源バルブの非点灯時において、レンズから灯室内を見ると、インナーハウジングの反射プリズムとキャップのプリズムとが連続的に見える。

【0013】

【実施例】以下、本発明の車両用灯具の一実施例を図1及び図2を参照して説明する。この例は、リヤコンビネーションランプを構成するターンシグナルランプについて説明する。図中、図3及び図4と同符号は同一のものを示す。

【0014】この実施例における本発明の車両用灯具においては、キャップ4の外側側の正面に、レンズ2から見てインナーハウジング3の反射プリズム30とほぼ連続的に見えるプリズム41が、設けられている。このプリズム41は、インナーハウジング3の反射プリズム30とほぼ同一ピッチで垂直に設けられている。なお、図2中、符号42は前記キャップ4の内面側のうち少なくとも前記プリズム41が設けられている範囲に対応する部分に、設けられたホーニング加工部分を示す。このホーニング加工部分は、所謂梨地模様(例えば曇ガラス等)をなすものであって、このキャップ4の成型時に同時に成形されるものである。

【0015】この実施例における本発明の車両用灯具は、以上の如き構成からなるので、光源バルブ5の非点灯時(消灯時)において、レンズ2から灯室14内を見

ると、図1に示すように、インナーハウジング3の垂直に分割された反射プリズム30と、キャップ4のプリズム(インナーハウジング3の反射プリズム30とほぼ同一ピッチで垂直に設けられているプリズム)41とが連続的に見える。この結果、一体感のあるプリズム形状を持つターンシグナルランプを提供することとなる。

【0016】特に、この実施例においては、図2に示すように、光源バルブ5を点灯すると、光源バルブ5からの光の一部がキャップ4を経て着色され、この着色光がインナーハウジング3の反射プリズム30で反射されて反射光として、また光源バルブ5からの光の残りがキャップ4のホーニング加工部分42を経て着色され、この着色光が直射光として、この反射着色光及び直射着色光がレンズ2を経て外部に所定の配光パターンで照射される。このために、光源バルブ5のフィラメントがぼやけて見えて点光りしない。このために、光源バルブ5の点灯時においてもインナーハウジング3の垂直に分割された反射プリズム30と、キャップ4のプリズム41とが連続的に見える。

【0017】なお、上述の実施例のものは、車両用灯具としてリヤコンビネーションランプを構成するターンシグナルランプについて説明したが、本発明の車両用灯具はその他車両用灯具にも使用することができる。

【0018】

【発明の効果】以上から明らかなように、本発明の車両用灯具は、光源バルブの非点灯時において、レンズから灯室内を見ると、インナーハウジングの反射プリズムとキャップのプリズムとが連続的に見える。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の車両用灯具の一実施例を示した正面図である。

【図2】図1におけるI-I線断面図である。

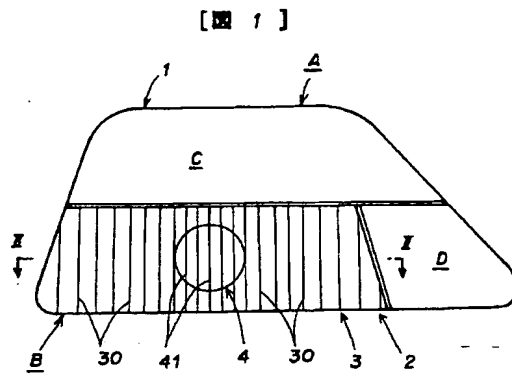
【図3】従来の車両用灯具を示した正面図である。

【図4】図3におけるI-V-I線断面図である。

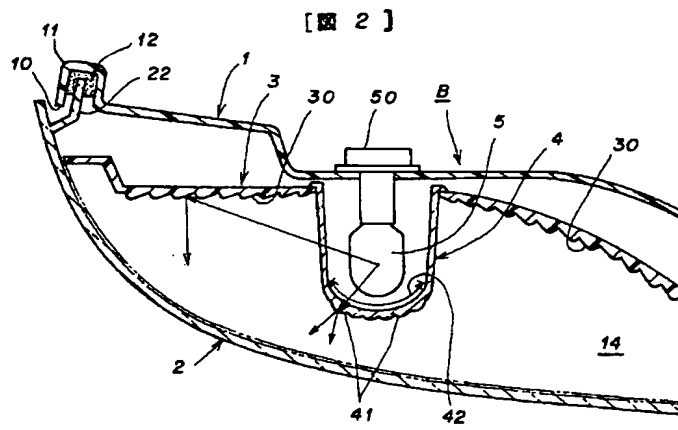
【符号の説明】

1…ランプハウジング、14…灯室、2…レンズ、3…インナーハウジング、30…反射プリズム、4…キャップ、41…プリズム、42…ホーニング加工を施した部分、5…光源バルブ。

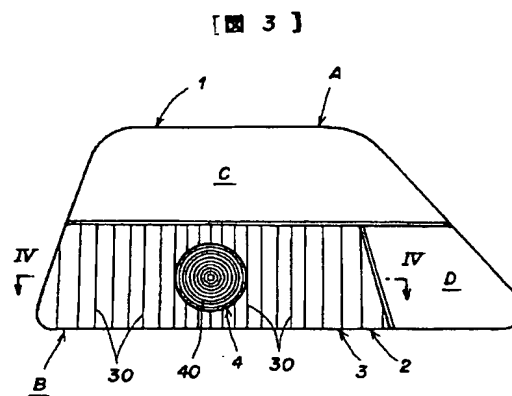
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

